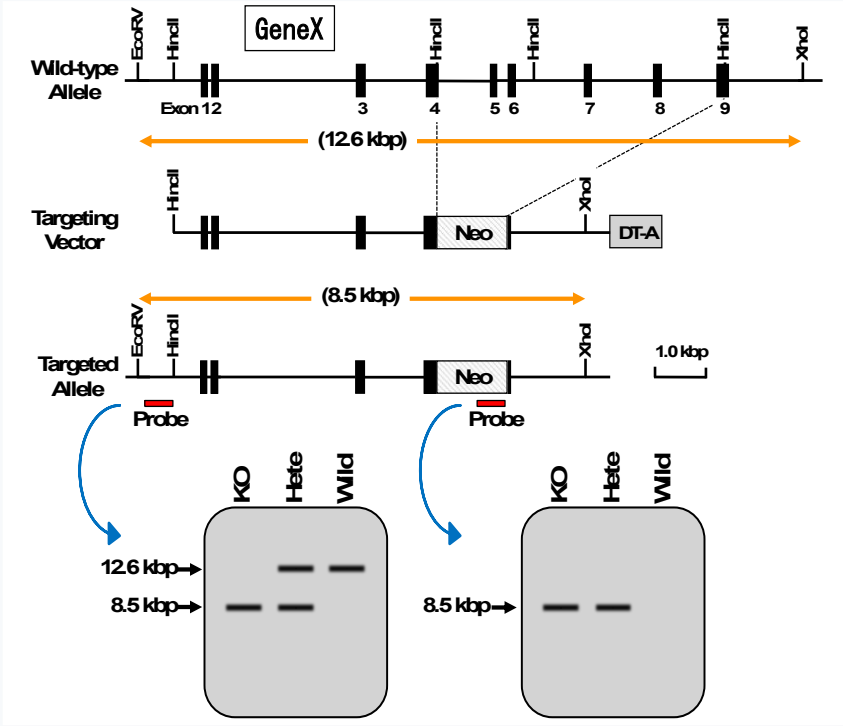
サザンブロットおよび関連受託解析

ノックイン・コンディショナルKOの構造確認を、PCRだけで終わらせない

サザンブロットで確認できること

解析イメージ



制限酵素断片のサイズとプローブの検出位置から、目的アレルの構造を判定

PCR・ショートリードNGSだけでは不十分な理由

PCR	プライマー間の短い領域は確認できるが、遠位側の構造や予期しない挿入を見逃す可能性
ショートリードNGS	短い配列情報が中心のため、反復配列や複雑な再構成、挿入コピー数の評価が難しい場合
サザンブロット	数 kb～十数 kbの制限酵素断片として評価し、目的アレルと異常挿入を構造的に確認

RI標識法を推奨

高感度　高S/N比

非RI法と比較して微量シグナルを検出しやすく、明瞭なバンド像を得やすい方法です。

本部門でサポートする工程

ゲノムDNA調製 > 制限酵素消化 > プローブ作製 > 転写・標識・検出

料金目安　10サンプルまで × 1プローブ：約10万円

※アイソトープ・制限酵素の購入費は別途

RFLP、ノザンブロット等関連解析にも対応可能